

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茅ヶ崎市十間坂1丁目計画新築工事	階数	地上10F
建設地	茅ヶ崎市十間坂一丁目5397番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	441 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2021年12月13日
敷地面積	1,797 m ²	作成者	(株)エイアンド・エスシステム一級建築士事務所
建築面積	1,077 m ²	確認日	2021年12月13日
延床面積	8,351 m ²	確認者	(株)エイアンド・エスシステム一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 本件は茅ヶ崎駅近くの商業地域内に建設される10階建ての共同住宅である。東海道沿いの1階は商業施設を配置し、まちの賑わいに配慮している。境界沿いは緑地を設け、外壁面を8階から後退させることにより空への広がりを感じられる計画としている。		
Q1 室内環境 居室の昼光率を高く設定し、光・視環境に配慮している。建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、室内空気質環境を良好にしている。	Q2 サービス性能 躯体は劣化対策等級3相当とし、設備は耐用年数の長い配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー BEIm=0.87。LED照明設備を導入している。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材を採用し、非再生資源の使用量を削減している。ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率=80%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される